

(19) 日本国特許庁(JP)

再公表特許(A1)

(11) 国際公開番号

WO2009/031627

発行日 平成22年12月16日 (2010. 12. 16)

(43) 国際公開日 平成21年3月12日 (2009. 3. 12)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
C07C 39/15 (2006.01)	C O 7 C 39/15	4 C 2 0 6
C07C 37/055 (2006.01)	C O 7 C 37/055	4 H 0 0 6
C07C 41/24 (2006.01)	C O 7 C 41/24	
C07C 41/30 (2006.01)	C O 7 C 41/30	
C07C 43/23 (2006.01)	C O 7 C 43/23	

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 26 頁) 最終頁に続く

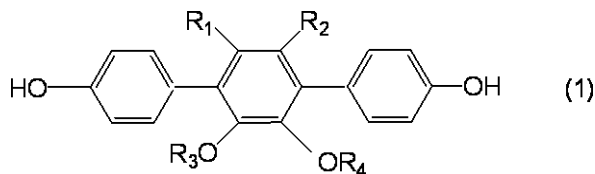
出願番号 特願2009-531283 (P2009-531283)	(71) 出願人 598096991
(21) 国際出願番号 PCT/JP2008/065999	学校法人東京農業大学
(22) 国際出願日 平成20年9月4日 (2008. 9. 4)	東京都世田谷区桜丘 1 丁目 1 番 1 号
(31) 優先権主張番号 特願2007-229029 (P2007-229029)	(74) 代理人 100080791
(32) 優先日 平成19年9月4日 (2007. 9. 4)	弁理士 高島 一
(33) 優先権主張国 日本国 (JP)	(74) 代理人 100125070
	弁理士 土井 京子
	(74) 代理人 100136629
	弁理士 鎌田 光宜
	(74) 代理人 100121212
	弁理士 田村 弥栄子
	(74) 代理人 100122688
	弁理士 山本 健二
	(74) 代理人 100117743
	弁理士 村田 美由紀

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 パラテルフェニル化合物、その薬理学的に許容される塩、その製造方法及び用途

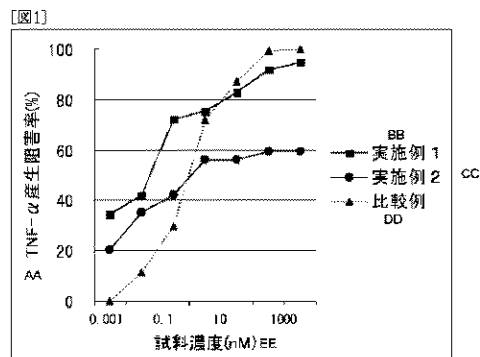
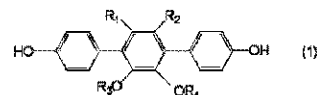
(57) 【要約】

本発明は、式(1)で示されるパラテルフェニル化合物又はその薬理学的に許容される塩及びその製造方法及び用途を提供する。



(式中、R₁及びR₂は、それぞれ独立に、炭素数1～6のアルキル基、環状アルキル基、アルコキシアルキル基、シロキシアルキル基、フェニル基又は炭素数3又は4のアルキレン基を表し、R₃及びR₄は、それぞれ独立に、水素又は水酸基の保護基を表す。)

本発明によれば、化学合成により、腫瘍壊死因子(TNF) - 産生阻害活性を有する化合物を提供することができる。前記化合物は有害な作用もなく、自己免疫疾患、アレルギー疾患等の治療剤として有用である。



AA TNF-α PRODUCTION INHIBITION RATE (%)
 BB EXAMPLE 1
 CC EXAMPLE 2
 DD COMPARATIVE EXAMPLE
 EE CONCENTRATION OF SAMPLE (nM)